特集 展勝地開園100周年

これまでの100年 これからの100年

沢藤幸治(さわふじこうじ)氏
明治14(1881)年、旧黒沢尻町生まれ。展勝地の生みの親。北上川沿岸一帯の壮大な眺めを愛し、展勝地造園に向けて奔走。黒沢尻町８代目町長

昭和42(1967)年の陣ヶ丘からの眺め。ゴールデンウイークには陣ヶ丘で多くの行楽客が花見の宴を楽しんだ。レストハウスはまだ建てられていないが並木入り口に茶屋がある

大正10(1921)年５月21日、陣ヶ丘で行われた開園式の神事。岩手県知事らを招き、音楽隊の演奏や川舟競争なども行われた

展勝地１００年の始まり

展勝地の誕生は大正10（１９２１）年５月21日。開園の祖とも、育ての親とも呼ばれている沢藤幸治氏（沢幸さん）は、明治末期から大正初めごろに展勝地の構想を持ったといわれています。横黒線（現ＪＲ北上線）の開通を目前とした新たな時代に入り、観光事業への先見の明がありました。

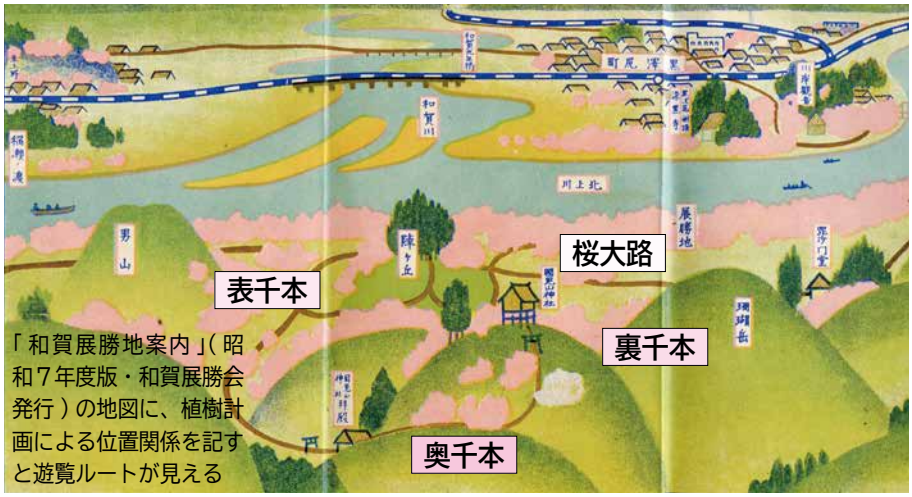
珊瑚橋から北上川沿い、畳山（陣ヶ丘）、男山、国見山へと連続した遊覧道路に桜を植栽し、風光明媚な景色を天下に紹介しようという構想。当時の原敬総理をも巻き込んだ壮大なプロジェクトは、翌年には開園にこぎつけるという速さで進められました。

展望のきいた景勝地「展勝地」

展勝地といえば、桜並木を連想する人が多いでしょう。しかしそれは展勝地の一部を彩るもので、展勝地の全体像は、陣ヶ丘や男山、国見山を歩くことで見えてきます。山頂からの眺めは、眼下に広がる平野、二つの大河、遠くは奥羽山脈を一望できる絶景です。場所を移動するごとに、さまざまな品種の桜に出合います。この大自然に桜を植え、日本一の名所に育てることを思い描きながら、沢幸さんは多くの来訪者を連れて山に登ったそうです。

大正10年11月に発表された「立花展勝地計画」（東京市技師・井下清氏考案、東京帝国大学教授・三好学博士閲。後に「和賀展勝地計画」と称され

陣ヶ丘から男山北口にかけてのエリア。男山へ向かう道路沿いのソメイヨシノは大正11（1922）年に植えられた【右】。この道は現在県道一関北上線になり、さくらまつり中は混み合う【左】



「和賀展勝地案内」（昭和７年度版・和賀展勝会発行）の地図に、植樹計画による位置関係を記すと遊覧ルートが見える

令和３（2021）年５月21日。
展勝地は開園100周年を迎えました。
山、川、色とりどりの花や生き物が共生し、私たち市民の憩いの場でもあります。
春の風物詩である桜並木（桜大路）は、訪れる人々を魅了します。一方で、老木の桜は衰弱が懸念されています。
この景色と憩いの場を次の世代へ引き継ぐために、どのように守り育てていくのか。
記念の年だからこそ、展勝地の足跡を振り返り、これからの100年を考えませんか。

男山から極楽寺、内門岡に向かう市道沿いには植樹されたソメイヨシノが見られる

国見山の北側エリア、稲瀬地区から立花地区を結ぶ山道沿いにヤマザクラなどが植えられた

平成２（1990）年完成の展勝地観光施設。レストハウスはかつて盛んだった舟運の米蔵をイメージした造り

る）は、展勝地区域の史跡、優れた景色を生かした計画で、桜並木を導入部として、陣ヶ丘、男山、国見山まで誘導することで、古代仏教遺跡の国見山廃寺や山頂からの自然眺望までを見せようというものでした。

植樹エリアの概要は、川沿いに「桜大路」、陣ヶ丘より東を望む国見山から男山北口までを「表千本」、男山から国見山に至る一帯を「奥千本」、国見山から珊瑚岳一帯を「裏千本」、山道を通って至る立花村落と毘沙門堂付近など。昭和に入り、戦争などの事情によって計画は未完となりましたが、その志は「表千本、奥千本、裏千本」の言葉と共に後世に残されています。

日本有数の桜の名所として成長

昭和29（1954）年、旧北上市市制の施行を機に、黒沢尻町立和賀展勝地から北上市立公園展勝地へと変わります。以降、通年型の観光地を目指して施設の整備などが進められました。

平成２（1990）年には、全国の「さくら名所100選」に選定。認定証はレストハウス入り口に設置されています。また、弘前、角館と共に、みちのく三大桜名所としてPRを展開。さくらまつりには全国や海外から観光客が訪れる場となりました。

市民による桜の保全活動

ソメイヨシノの寿命は一般に50～60年といわれており、昭和30年代に最盛期を迎えた桜並木は、次第に樹勢の衰えが懸念されるようになりました。

開園から約50年が過ぎた昭和49（1974）年10月、北上青年会議所が市民に呼び掛けて北上市民大植樹祭を開催。「桜の名所展勝地公園を守ろう」を合言葉に約1500人が参加し、展勝地一帯に千本の若木を植えました。この活動は下刈りや補植などの市民運動へ発展し、昭和56（1981）年、「北上さくらの会」が設立されました。

21世紀を迎えた展勝地を祝う

平成13（2001）年、展勝地は新しい世紀最初の年に開園80周年を迎えました。これを記念して、三大桜で天然記念物のエドヒガンザクラ「淡墨桜（うすずみざくら）」「神代桜（じんだいざくら）」「久保桜」を憩いの森などに植樹。さらに11月の「桜の街」植栽事業では、市内17カ所にヤマザクラなど5品種370本の苗木が、地域の人々によって植えられました。桜を通じて、市民と行政の協働による活動の輪が広がりました。

盛り上がる周年に向けた活動

初夏に入ると並木沿いにはアジサイが咲き誇ります。これは昭和63（1988）年に女性の市民で結成された「北上あじさいの会」によって植えられたもの。剪定作業や清掃活動を定期的に

【左上】市民による桜保護育成活動「桜守事業」を展開しようと昨年11月、弘前市から専門アドバイザーを招いて施肥作業を行った（事業班長：北上さくらの会事務局・和賀匡彦氏）
【右上】一山園のシダレザクラとソメイヨシノの競演
【下】展勝地お花畑事業で、昨年10月に植えられた菜の花は、目にも鮮やかな色で来訪者を迎えた（事業班長：NPO法人立花展勝会・三浦和俊理事長）

展勝地お花畑事業で、桜の時期以外にも見どころを作ろうと植えられたヒマワリ。昨年5月に種まきを行い、夏に立派な花が咲いた（事業班長：アンビシャスファーム・佐藤孝志代表）

昭和49(1974)年に北上青年会議所が主催した市民大植樹祭。千本のベニヤマザクラが植えられ、参加者にはいものこ汁が振る舞われた

【上】開園80周年を記念して開催された「桜の街」植栽事業。樺山歴史の広場では、伊藤彬前市長と子どもたちが一緒に作業を行い、汗を流した
【下】市役所本庁舎西側の基準木で行われる開花宣言。北上さくらの会が平成2(1990)年から実施している。今年は観測史上最速の4月6日に宣言。表示板に開花日と開花状況が記入された

行い、景観維持を担っています。

また、100周年記念事業では、各団体が園内にスイセンや菜の花、ヒマワリを植え、一年を通して展勝地を楽しめるようにと取り組んでいます。さらに、桜を次の世代へ引き継いでいくため、市民による桜守事業も展開。今後、組織化が期待されます。

開園の精神と共に次の100年へ

100年の開園記念日である5月21日、展勝地関係者らは座談会を開催し、今後のビジョンを考えるための基本的な視点を確認し合いました。当時の和賀展勝地計画や差し迫る並木の老衰、そしてさまざまな社会の変化がある中で、次世代に残したい展勝地の良さを、市民の皆さんを交えて考えていきます。

10月には記念式典と記念植樹を予定。次の100年に向けたスタートをみんなで見届けましょう。

一昨年のアジサイの花でドライリースを作り、各所に配布。リースは昨年の講習会に参加した市民の手づくり（事業班長:北上あじさいの会・渡辺良子氏）

昨年11月に実施した展勝地クリーン大作戦では、早朝に東陵中学校の生徒が参加して北上川河川敷にスイセンの植え替えを行った（事業班長：北上あじさいの会・渡辺良子氏）。同10月の展勝地お花畑事業でも、立花小の児童が参加して園内の菜の花畑隣にスイセンを植えた（事業班長:NPO法人立花展勝会・三浦和俊理事長）

開園100周年を祝い、記念曲を制作（事業班長：同制作委員会　代表　立花自治振興協議会　軽石強会長）。3月20日と21日に、さくらホールでの春の演奏会で初披露された。10月の記念式典でも演奏される予定。作曲を担当したのは北上市生まれの八木澤教司さん（本号26ページで紹介）

展勝地開園100周年記念事業への協賛金をお願いします

開園100周年を迎え、市内各団体が主体となって、さまざまな記念事業を行っています。また、100年の軌跡と今後の展望をまとめた記念誌も発行します（12月発行予定）。これらは展勝地開園100周年記念事業実行委員会の事業です。

同事業への協賛金を、市民や企業などの皆さんから募集しています。協賛者へは記念誌を贈呈するほか、紙面で紹介します。ぜひご協力ください。

■**協賛金額**…法人1口10,000円、個人1口3,000円

■**申し込み**…同実行委員会事務局（都市計画課）☎72-8279

※詳しくは、同課へお問い合わせください。

同実行委員会では、ライオンズクラブ国際協会からいただいた寄付1,500,000円を活用し、展勝地PR映像の制作を進めています（寄付の一部は記念誌作成にも活用）。今後さまざまな場で活用していきます。

展勝地公園のベンチにメッセージを残しませんか
-記念の思い出プレート受付中-

開園100周年を記念し、皆さんの思い出や感謝の言葉などをメッセージとしてプレートに刻み、公園内のベンチに取り付けて記念としませんか。

■**文字数**…40文字以内

■**プレートサイズ**…幅120㎜×縦33㎜（ステンレス製）

■**費用**…1枚8,000円（税込み）

■**募集プレート数**…200枚（先着順）

■**申し込み**…（一社）北上観光コンベンション協会☎65-0300へ

※詳しくは、市のホームページをご覧ください。

■**問い合わせ**…都市計画課☎72-8279

（記入例）
生まれてくれてありがとう
いつか展勝地でお花見しようね
初孫誕生を祝して　じいじ＆ばあば